

2012 両国夕涼み「Twilight Summer Tour」実施報告書



NPO 法人 隅田川・江戸文化観光振興会
理事長 飯野貴敏

【はじめに】

2012年8月4日(土)に、両国夕涼み「Twilight Summer Tour」(以下、過去の浴衣ツアーも含んで「本イベント」と表現します)を皆様のご尽力のもと無事開催する事ができました。

本NPO法人の主催するイベントとしては、2007年より6年間も続いているイベントです。

外国人の方々に「すみだ」の魅力、そして江戸の魅力、日本の魅力を伝えるイベントに成長しつつあります。これからも継続的、発展的に開催をして参りたいと考えており、皆様のより積極的なバックアップをお願いしたいと切に願っております。

以下、本イベントの実行内容、成果と課題、という観点からご報告申し上げます。

目次

1. 実行内容
 - I. 本イベントの主旨
 - II. 開催に向けた準備
 - III. 当日の実施内容
 - IV. 参加者の概要
2. 成果と課題
3. 添付書類

1. 実行内容

I. 本イベントの主旨

NPO 法人 隅田川・江戸文化観光振興会は、すみだに残る江戸文化をより多くの人に広めたいという思いから、『浅草、両国、向島など隅田川周辺地域を対象として、地域の活性化および観光まちづくりの推進に寄与する事』を目的として2006年5月に設立されました。当初は、東京都の支援のもと、隅田川の両岸を盆踊りで繋げる和おどりをはじめとして、両国の街案内のパンフレット作成、向島のパンフレット作成等、すみだに残る江戸文化を広く伝えながら、街づくり、学術、文化、芸術の振興、地元経済の活性化を目指し活動を実施してまいりました。

これまでの活動では日本人を対象とするイベントが中心でしたが、本イベントについては、海外の方々の日本の伝統文化に対する興味が広まっている事から、伝統的な日本の文化に触れ、実際に体験することで、「すみだ」をきっかけに「日本」をより深く理解し、「すみだ」や「日本」のファンになって欲しいという思いから、旧安田庭園の「納涼の夕べ」および両国2丁目町会の「夏祭り」と時期を合わせて開催を致しております。

II. 開催に向けた準備

プロモーションについて…本イベントの告知を行い、参加者を集めるために以下の取組を実施しました。

- 制作物: カラーチラシ 1,000 部作。観光協会、NPO の Web ページ募集要項作成
- 広報活動その他
 - ◆ 7月3日墨田区観光協会及び本 NPO メンバー同行、外国人が多く集まる教会関係、各種外国人向け学校その他を回り PR 活動を開始した。
ドイツ大使館、アメリカンクラブ、ロシア大使館、慶応義塾大学、ザ・プリンスパークタワーホテル、東京プリンスホテル、六本木外国人共同体協会、港区国際交流協会、社団法人国際文化会館、西麻布 38 興亜ビル内コスタリカ、パナマ共和国、ウルグアイ、イエメン、ホンデュラス、ハイチ、グアテマラ、ニカラグ、ドミニカ、エジプト、エルサルバドル、エクアドル各大使館訪問。
その他リストアップされた上記以外の 93ヶ所についてもメール及びパンフレットを送付する等の積極的な PR 活動を墨田区観光協会が実施してくれました。
 - ◆ 7月22日頃からイベントへの申し込み者からのファックスが徐々に増え始めて、意外とお客様の反応が早い事に安心する一方、上記の通りプロモーションに力を入れたために、想定外の集客が実現し、申し込みが 65 名を超えた時点で以後の受付を中止しました。

Ⅲ. 当日の実施内容

【① 受付開始】

スタッフ集合は15:00。本NPOメンバー8名、ボランティアスタッフ7名、着楽会殿23名、観光協会殿3名、墨田区観光課殿2名、通訳2名、合計45名が集まり、会場である両国シティーコア2階会議室を全員で会場設営開始、イベントのスタートを切りました

15:30 第1号のお客様がシティーコア受付にお見えになり、2012年「Twilight Summer Tour」が始まりました。

受付に現れたお客様と事前申し込み名簿と照合、まず浴衣を選んでもらって着付け開始、これに一人当たり約10～15分着楽会メンバーが奮闘を開始。

飛び込みのお客様も現れしばらく待機していただき、丁度キャンセルが出たので受け入れが出来たり、Webでの申し込みが名簿に反映されてなかったりと、いつもの多少の混乱は若干ありましたが、順次着付けが終了したお客様を国技館に案内開始しました。



【② 国技館にて】



全員で記念撮影

浴衣に着替えた全員が国技館入り口正面に集合し、色とりどりの浴衣の色が眩しい風景の中で、まずは飯野理事長から開会のご挨拶をさせて頂きました。日本相撲協会の鈴木広報室長始め2名の案内により、国技館バックヤードツアーに移りました。

まず相撲博物館を見学し、更衣室、稽古場所、お風呂、トイレ等を案内した後、土俵下まで行き、終了後に広場で写真撮影。

それぞれが思い思いの記念撮影をしていました。



支度部屋にて



国技館前にて

【③安田庭園 納涼の夕べ】



折り紙指導 納涼の夕べ



野点 納涼の夕べ

全員を国技館から旧安田庭園「納涼の夕べ」へ誘導。人数が多いため、まず1班がお茶席へ、2班が折り紙へ、時間調整のうえ、やっと各コーナーに進むことが出来ましたが、事前に納涼の夕べ実行委員会との打ち合わせが必要な事を痛感しました。

野点の席では毎年山崎区長がお客様のお出迎えをして頂き、さらに観光協会の阿部理事長も同席して頂きありがとうございました。

【④食事と盆踊り】

納涼の夕べの会場から両国二丁目のお祭りの会場へ誘導し、二丁目町会の皆様に準備していただいた椅子とホテルベルグランド横の休憩場所で食事が開始されて、皆様美味しい御弁当を食べた後、いよいよ盆踊りに挑戦しました。

踊りの指導は両国二丁目の皆様と踊りの会の皆様で、最初はなかなか踊りの輪の中に入って来ませんでした。時間の経過と共に殆どの外国人のお客様が踊りの輪の中に入って来て、指導してくれる方の踊りを見ながら真剣に楽しそうな輪が出来上がりました。



盆踊り会場にて



盆踊り会場にて

【⑤着替え会場にて】

夢中になった盆踊りも花火で終了し、皆様は着替えの会場に戻ってこられて、着楽会のメンバーの皆様の奮闘が始まりました。さすがに着替えさせるよりも短時間で終了する事ができて、お客様にアンケートを書いて頂き、そのお礼として多くのお土産を一人一人に渡す事が出来ました。

お土産は団扇、タワーをあしらった手ぬぐい、おしなり君饅頭、墨田百景カレンダー、同絵葉書等がたっぷり入った袋を嬉しそうに抱えて去っていく外国人の皆様を見ながら、こんな企画を喜んでくれた事で改めて「やってよかった！」と実感しながら、スタッフは会場の整理、使用した浴衣の確認・梱包と慌しく動き回り、打ち上げとスタッフの夕食をかねるカプリチョーザに集合できたのは夜10時30分を回っていました。

お土産のご提供を頂いた、森八様、サンコー様、日光紙業様ありがとうございました。

IV.参加者の概要

本イベントの申し込み者については、今回も 16 カ国と世界各国多岐にわたります。毎年の分布を見てみますと、特定の国がいつも多い訳ではなく、実に様々の国の皆様がお見えになっていることが分かります。

ポイントとしては日本文化の一端を感じて、体験して貰う事で、日本への理解を深めて頂くことが出来るという、本イベントが外国人の間で定着している事が伺われます。

Twilight Summer Tour 申し込み国別人数表

国名	男	女	子供	合計	国名	男	女	子供	合計
中国	2	0		2	インドネシア		5		5
日本	3	5		8	スペイン	2	2		4
ドイツ	1	5		6	ロシア		2		2
台湾	2	16		18	ウズベキスタン	1	1		2
タイ		2		2	ミャンマー		2		2
英国	1	0		1	インド		1		1
オーストラリア		1		1	モーリシャス	1			1
米国	2	7		9					
フランス	1	2		3					
				16国		16	51		67

2.成果と課題

アンケートを見ても、参加者にとっては満足度の高いイベントであると自負しております。我々が海外に旅行した場合を考える時、民族衣装を着て、現地の一般の方でも入れない施設に入り、更に伝統文化に触れる事の出来る食事付半日のツアーであれば、日本円で8,000円以上するパッケージツアーになるものと思われまます。それが、参加者にとっては3,800円で実現出来ており、しかもお土産まで貰えます。そして、何よりも参加された外国人のお客様が素直に喜んでくれた事、その事がスタッフにとっては何よりの励みになります。

課題としては、運営上の課題もございますが、最終的にはコストの問題につきまます。NPO としては全員がボランティアで集まり運営に関わる人的費用は発生しておりません。

例年に比べて赤字の幅が縮小されているのは、集合・着替えの場所費用が大幅に安くなった事。さらに浴衣のレンタル金額が昨年度の京都に比べて本社を墨田区に移された「たんす屋」様のご提供頂いた浴衣レンタル料金が大幅に安くなった事、広報費の中で印刷費をボランティア価格にした事等を含めても添付資料の通り赤字となっております。

このような状況では、如何にご参加の方々喜んで頂き、すみだのファンを作る事につながる素晴らしいイベントも継続する事は出来ません。

関係諸機関のより一層のご協力をお願い致しますとともに、本イベントの運営にご協力を頂きました、区役所観光課の皆様、観光協会の皆様、通訳の西村様、中村様、東京都の森田様、着楽会の皆様、両国二丁目町会の皆様、心より感謝と御礼を申し上げて、2012 両国夕涼み「Twilight Summer Tour」報告を終わります。